

令和 2 年 3 月 1 6 日

国立公文書館

館長 加藤 丈夫 殿

アジア歴史資料センター

センター長 波多野 澄夫 殿

〒 3 5 2 - 0 0 0 6

埼玉県新座市新座

2 - 1 8 - 1 5 - 5 0 4

杉原誠四郎

昨年 1 2 月 1 0 日付にてお送りした 1 2 月 8 日付文書「インターネット特別展「公文書に見る日米交渉－開戦への経緯」における疑義と要請」につき、本年 1 月 1 5 日付にてご回答いただきましたが、このご回答では内容において不十分であるとして、1 月 1 7 日付にて再要請の文書を、さらに 2 月 1 7 日付にて 3 月 1 7 日までにご回答くださるよう要請の文書をお送り申し上げていたところ、3 月 1 3 日付にてご回答いただきました。まずは、ご回答いただきましたことにつき、深く御礼申し上げます。

さりながら、このご回答によって、疑義はいっそう深まらざるをえなくなりました。

(1) まず は、「 参 考 文 献 」 作 成 に は、「 優 れ た 専 門 書 、 研 究 書 等 の す べ て に 目 を 通 す こ と を せ ず 、 か か る ペ ー ジ の 作 成 に 必 要 な 範 囲 で の み 文 献 を 参 照 し 、 教 科 書 的 な 説 明 に 終 始 し た 」 と あ り ま す 。 こ の こ と は い ち お う 了 承 し ま す が 、 言 わ れ る よ う に 、 必 要 な 範 囲 で の み 文 献 を 参 照 し 、 教 科 書 的 な 説 明 に 終 始 し た と す る な ら ば 、 今 問 題 に し て い る 当 該 書 は 、 平 成 1 3 年 、 後 に 防 衛 大 学 校 校 長 に 就 任 さ れ る 五 百 旗 頭 真 氏 が 中 心 と な っ て 、 日 本 も ア メ リ カ の 外 交 電 報 を 解 読 し て お り 、 情 報 戦 に お い て は 、 部 分 的 に 日 本 は 互 角 に 戦 っ て い た と い う 事 実 を 初 め て 発 見 し た と 記 者 会 見 を し て 発 表 さ れ た と き 、 私 (杉 原) は 各 新 聞 社 か ら い ろ い ろ と 取 材 を 受 け 、 そ の 際 に 日 米 交 渉 に 関 わ る 重 大 な 史 実 を 明 ら か に し た 研 究 書 と し て 全 国 的 に 紹 介 さ れ た 書 籍 で す か ら 、 真 っ 先 に 収 録 さ れ な け れ ば な ら な い の で は な い で し ょ う か 。

(2) 次 に 、 真 珠 湾 攻 撃 前 後 の 日 米 双 方 の 暗 号 解 読 の 実 態 と そ の 活 用 、 最 後 通 告 の 遅 延 事 情 な ど に つ い て 、 「 今 日 に お い て も 論 争 的 で あ り 、 学 術 的 に 裏 付 け ら れ て 確 定 し た 「 史 実 」 や 「 解 釈 」 は 、 未 だ 存 在 し な い も の 」 と 述 べ て お ら れ ま す 。 こ の こ と も い ち お う は 了 承 し た こ と に し ま す が 、 な ら ば そ れ ゆ え に こ そ 、

逆にいろいろな解釈の研究書を公正、公平に収録すべきではないでしょうか。

(3) それに「特定の解釈に依ることを避けた」とはどういうことでしょうか。「解釈」のない専門書、研究書のみ収録したということでしょうか。「解釈」のない歴史に関する専門書、研究書はありません。すでに「参考文献」に収録されている研究図書、関連図書は、すべて、いちおう押さえられる資料、史料に基づきながら、それぞれに解釈を施したのものになっています。今回の回答に名を連ねられたアジア歴史資料センターの波多野澄夫センター長の著書も収録されていますが、これも結局は資料、史料等に基づきながら解釈を施したものです。よって「特定の解釈に依ることを避けた」とは、「参考文献」作成担当者にとって好ましくないと思われる「解釈」の研究図書、関連図書を排除したという意味になるのではないのでしょうか。公正であるべき公的立場の国家公務員の職責、業務に反することをされたということになると思われませんが、いかがでしょうか。

(4) さらに言うべきは、ここで言われている避けるべき「特定の解釈」というのは何でしょうか。このことについて「参考文献」作成の担当者は、明確に明らかにする責任があ

ります。明らかにしていただくよう、はっきりと要請します。

よって、上記4点について、明確にお答えいただくと同時に、昨年12月8日付文書にて要請しました、「参考文献」作成を担当した職員の氏名をお知らせいただくことと、当該書の不掲載が不適切であることについての謝罪していただくこと、及びこの「参考文献」の中に当該書を追加掲載していただくことを、さらに強く要請します。

なお、昨年12月10日付送付の12月8日付文書「インターネット特別展「公文書に見る日米交渉－開戦への経緯」における疑義と要請」、本年1月15日付のご回答、及び1月17日付にて私（杉原）から送付の再要請文書は、英訳も含めて「史実を世界に発信する会」よりすでに公表していることをお伝えしておきます。今回の3月13日付ご回答、及びこの3月16日付文書もいずれ公表させていただくことを申し添えます。

ご回答は、特に新たに調査することはないと思われまますので、恐縮ですが4月16日までをお願いいたします。

以上

令和 2 年 3 月 1 6 日

受 取 人

東京都千代田区北の丸公園 3 - 2

国立公文書館館長 加藤 丈夫

差 出 人

埼玉県新座市新座 2 - 1 8 - 1 5 - 5 0 4

杉原 誠 四 郎